

伊藤大使の令和3年度補正予算UNFPA案件発足式参加

2022年3月28日、伊藤大使は、当館とUNFPAエチオピア事務所と合同で実施された「エチオピアのアムハラ州とベニシャングル・グムズ州の紛争とCOVID-19の影響を受けた地域におけるジェンダーに基づく暴力（GBV）対策とセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス（SRH）支援」事業の発足式に参加しました。

当該事業は、アムハラ州とベニシャングル・グムズ州の紛争及びCOVID-19の影響を受けた地域における脆弱な女性、少女、青年、若者へのGBVとSRH関連情報及びサービスへのアクセスの改善を目的に、我が国よりUNFPAエチオピア事務所に1億円（約93万米ドル）を拠出し実施されるものです。本案件を通じて、紛争により破壊された保健医療システムの構築及びGBVとSRHサービスと情報への適時のアクセス促進が行われます。

事業発足式において、伊藤大使は、保健分野は我が国の対エチオピア支援の重点分野の一つであり、エチオピアの友人として、今回保健分野特にコロナ対策及びジェンダーに配慮したGBVとSRHサービス支援でエチオピアの人々の健康に寄与できることは、大きな喜びであり、引き続きUNFPAを含む国際パートナーと連携協力も含め、エチオピアの保健分野への支援を継続していく予定である旨述べました。また、フンディラUNFPAエチオピア事務所長、保健省代表、アムハラ州及びベニシャングル・グムズ州保健局代表より、我が国の支援に対する謝辞が述べられました。



伊藤大使のスピーチ



保健省代表のスピーチ



UNFPA エチオピア事務所長の
スピーチ



集合写真